令和3年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	20	事業No.	141		
事務事業名	地域エネルギー普及事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	新規
担当課等名	環境モデル都市推進課	開始	R3	終了	R6

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画		11	地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進
			13	リニア・三遠南信時代を支える都市基盤を整備する
	分野別計画	○		21’いいだ環境プラン第５次改訂版
				飯田市地球温暖化対策実行計画
	法令・例規等			地球温暖化対策の推進に関する法律
				飯田市環境基本条例
				飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例

事業目的		
	対象	市民、事業者
	意図	市民、事業者、行政が協働して自然エネルギーの域産域消に取組み持続可能な地域づくりを実施します。 また、リニア時代にふさわしい脱炭素社会に向け取組を推進します。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価) ★印はISO配慮事項	市民の再エネ設備の設置意欲を維持するため、社会のニーズに合致した補助制度への見直しを行い、温室効果ガスの削減取組みが必要です。また、市内木質バイオマス資源を最大限利用するため、地域内での流通体制を構築していく必要があります。渋谷区との交流事業は、将来的な排出権取引も見据えた交流事業の推進が必要です。小沢川小水力発電事業は、引き続き市も協定に基づき国や県の許認可協議等を側面支援し、地域と連携を図り進める必要があります。リニア駅周辺整備に先進性の高い取組を導入し、地域内外へモデル性の発信をする必要があります。

3年度取組

取組内容

◇太陽光発電設備及び蓄電システム、太陽熱温水器の設置に補助を実施します。
◇公共施設や一般家庭の木質バイオマス機器導入を推進します。
◇地域と民間事業者の公民協働による再エネ事業を推進します。
◇メガソーラーいいだの適切な管理とＰＲを行います。
◇渋谷区とのみどりの環交流を継続的に実施します。
◇小沢川小水力発電事業に係る国や県の許認可取得の協議及び建設工事の着工に向けた支援を行います。
◇リニア駅周辺整備基本設計を基に、駅周辺整備に係る低炭素な仕組みの具現化を図り、併せて、リニア事業移転街区を環境共生住宅エリアとし、地域内外へ地域独自のライフスタイルを発信する場として構築します。

経費の内容	事業費(千円)
太陽光発電設備・蓄電システム、太陽熱温水器設置補助経費	22,220
太陽光市民共同発電グリーン電力使用料	9,524
メガソーラーいいだ運転補助、PR施設管理他	1,995
木質バイオマス機器導入補助経費	1,200
公共施設ペレットストーブ設置経費	10,412
みどりの環交流事業経費	89
飯田市再生可能エネ導入支援審査会運営経費	519
小沢川小水力発電事業化支援	2,532
環境共生住宅エリア構築に係る経費	26,286
その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	令和3年度 計画	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	令和5年度 計画	令和5年度 実績	令和6年度 計画	令和6年度 実績
太陽光発電設備設置補助対象の設置容量	kW	1,000							
蓄電システム設置補助交付件数	件	100							
太陽熱温水器設置補助交付件数	件	40							
木質バイオマス機器の新規導入	件	66							
飯田市再生可能エネ導入支援審査会指導・助言	回	4							
環境共生住宅エリア構築への補助交付件数	件	25							

3年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	74,777
国庫支出金	0
県支出金	225
地方債	8,100
その他	5,950
一般財源	60,502

特定財源内訳及び補足事項

（県）信州産ペレット消費拡大事業（３／４）　225千円
（地）地域活性化（充当率90％）　8,100千円
（そ）太陽光市民共同発電　950千円
（そ）ふるさと寄附金　5,000千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	13	72,339 0	地域エネルギー普及事業費
2	1	4	1	5	1	3	2,438 0	会計年度任用職員人件費
3								
4								
5								
6								
7								